

**Phone Appli、村田製作所と共同で  
「1on1 ミーティングにおけるコミュニケーションの質向上」をテーマとした実証実験を開始  
～上司と部下の会話量や盛り上がりを可視化～**

Web 電話帳アプリケーションを主軸としたコミュニケーションの効率化を実現する様々なサービスを展開する株式会社 Phone Appli（本社：東京都港区、代表取締役社長：石原 洋介 以下、「Phone Appli」）と、株式会社村田製作所（本社：京都府長岡京市、代表取締役会長兼社長：村田 恒夫、以下「村田製作所」）は、村田製作所の空間をセンシングし、可視化したデータとして提供する仮想センサプラットフォーム"NAONA"を活用した会議可視化の実証実験を開始しました。



Phone Appli では“日本一のコミュニケーション改革企業”を目指し、様々な働き方改革を行っています。コミュニケーション改革施策の一つとして、1 on 1 ミーティングと呼ばれる、上司と部下が定期的に行う個人面談を実施しています。1 on 1 ミーティングを通して、上司が部下の課題や悩みを聞き、適切なアドバイスや指示を行うことで、業務やコミュニケーションの活性化を図ることを目的としています。制度を設けるだけでなく、ミーティングの質を高めることを目的とし、この度、村田製作所のセンシング技術を活用した実証実験を開始致します。実証実験において、会議での会話割合や感情推移を可視化することで、より良いコミュニケーションの実現を目指します。

**【実験概要】**

今回の実証実験では、村田製作所の"NAONA"を活用することで、音声特徴量（会話の方向、ボリューム、テンポ、トーン等）をもとに、会議における会話やコミュニケーションの質を分析し、“会議の質の見える化”に取り組みます。

この実験は、上司と部下で毎週行われる 1 on 1 ミーティングにて行われます。会議内において、上司と部下の間でそれぞれのくらの会話をしたかという会話の割合や、どのような感情変化があったのかを分析し、傾聴の様子や感情的な会議になっていないかを調査することで、“NAONA”の有用性を検証するものです。

今回の実証実験を通じ、会議の質を可視化した内容を各マネージャーにフィードバックすることで、マネージャーの成長や社内コミュニケーションの活性化、社員教育における質の向上を目指します。

また、本実験を通して Phone Appli の新たなサービス開発に役立てたいと考えております。



